

## 悪性リンパ腫の病期診断に関する後方視的調査研究

### 1. 研究の対象

1997年1月1日以降に国立がん研究センター中央病院で悪性リンパ腫と診断された患者さんが対象となります。

### 2. 研究目的・方法

研究の概要：

悪性リンパ腫において、正確な病期診断を行うことは、病変の分布を正確に把握することや適切な治療方針を決定する上でとても重要です。最近では、より感度の高い検査であるFDG-PET/CTが広く悪性リンパ腫の病期診断に導入されるようになりました。ただ、FDG-PET/CTを用いない従来の病期診断方法と、FDG-PET/CTを用いた病期診断との一致率や不一致率に関する十分なデータがありませんでした。そこで、本研究は悪性リンパ腫におけるFDG-PET/CTを用いた病期分類と従来の病期分類との一致性および不一致性を解析し、病期診断における問題点を考察します。

研究の意義：

今回の研究結果により、FDG-PET/CTを病期診断に用いる妥当性や問題点などを明らかにし、実地診療における今後のより適切な病期診断方法を確立するためのデータのの一つとなり得ると考えています。

目的：

悪性リンパ腫において、FDG-PET/CTを用いた病期分類とCT検査、骨髄検査、消化管内視鏡を元にした従来の病期分類の相違点について解析します。

方法：

診療録を用いて、患者さんの背景、画像検査、骨髄検査、消化管内視鏡検査結果などにより、従来の方法とFDG-PET/CTを用いた方法との、それぞれの病期を判定します。判定された病期の一致率と不一致率、および不一致だった場合の原因病変などについて検討を行います。

ます。また、病期が変更された場合には、治療方針の決定に影響する可能性があったか否かについても後方視的に検討を行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療情報、検体検査結果、画像検査結果、生理検査結果、治療成績、副作用等の発生状況、カルテ番号、生年月日 等

試料：この研究で用いる試料はありません。

### 4. 試料・情報の公表

本研究は得られたデータは、解析が終了した時点で、研究全体の検討を実施し、学術的内容の検討を行います。その結果を受け、個人が特定されない形で学会や論文で公表します。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科

研究代表・研究責任者 丸山 大

〒 104-0045 東京都中央区築地 5 丁目 1-1

電話番号：03-3542-2511/FAX 番号：03-3547-5228